

歯科用ユニット給水に関する Q&A

株式会社 **モリタ** 製作所  
株式会社 **モリタ** 東京製作所

## 目次

- Q 1. フラッシングだけで良いのか？
- Q 2. フラッシングは毎日するのか？どのような手順で行えば良いのか？
- Q 3. フラッシングの機能を付けたいが、どうすれば良いのか？
- Q 4. フラッシング機能を後付けしたいがどのユニットが対応可能なのか？
- Q 5. 古いユニットは問題ないのか？
  
- Q 6. 給水管路クリーンシステムはどのぐらいの頻度で実施すれば良いのか？
- Q 7. 給水管路クリーンシステムを使っているが、薬液の残留は無いのか？
- Q 8. 給水管路クリーンシステムを付ければバイオフィルムは形成しないのか？
- Q 9. 給水管路クリーンシステムを後付けしたいがどの器種が対応可能なのか？
- Q 10. 給水管路クリーンシステムについて案内（院内掲示）できるものはあるのか？
  
- Q 11. 水道水は衛生的に保たれているのにユニットから出てくる水は汚れているのか？
- Q 12. 除菌フィルターがなぜ必要なのか？
- Q 13. ユニットの水について調査することはできるのか？
  
- Q 14. 他社の給水に関するシステムはなぜモリタのユニットに使用できないのか？
- Q 15. 他社の給水に関するシステムをユニットにつなぐと器械に影響しないのか？
- Q 16. 他社はなぜ接続して良いのか？

## 【歯科用ユニット給水に関する Q&A】

Q 1. フラッシングだけで良いのか？

A 1. 毎日の診療前のフラッシングにより水道水質基準に適合した水に入れ替えることができます。以下の使用環境によっては改善しない場合があります。

- ① 残留水排出後、使用されずに長時間放置された場合
- ② ユニットに供給される水が水道水質基準や水質管理目標設定項目を満たしていない場合  
※受水槽や貯水タンクから供給を受けている場合については設置者の定期点検と清掃の実施により水道法の水質基準に適合した水の供給を受けてください。
- ③ 滅菌・消毒していないインスツルメント類を装着した場合

Q 2. フラッシングは毎日するのか？どのような手順で行えば良いのか？

A 2. フラッシングは毎日の診療前に行うことを推奨します。

また、1日の中でも使用していない時間が長いユニットについてはご使用前にフラッシングを行うことをお勧めします。取扱説明書に記載の手順でフラッシングを行ってください。

Q 3. フラッシングの機能を付けたいが、どうすれば良いのか？

A 3. フラッシング機能を後付けすることができます。

型式・年式により対応内容が異なりますのでお取扱店にご相談ください。

Q 4. フラッシング機能（自動）を後付けしたいがどの器種が対応可能なのか？

A 4. 次の器種（型式）について対応可能です。

・イムシアⅡ以降のイムシア    ・スピリットV    ・セプタス

・シグノG50、G40、G20、トレファート

なお、手動によるフラッシングについては全ての器種において対応可能です。

※現地改造において後付け対応キット（別売）が必要となります。管路部材の変更も必要になる場合があります。

Q 5. 古いユニットは問題ないのか？

A 5. まず、汚れの状態を確認する必要があります。水中の残留塩素を確認することで汚れの程度が確認できます。簡易残留塩素測定キットなどで水中の残留塩素を確認することができます。フラッシングにより改善が見られない場合には追加調査の上でそれぞれの状況に応じた適切な対応（例えば、管路部材の交換等）を行う必要があります。

Q 6. 給水管路クリーンシステムはどのぐらいの頻度で実施すれば良いのか？

A 6. 毎日の診療後に実施することをお奨めします。

特に、土・日の休診や長期休暇前には必ず実施するようにしてください。

Q 7. 給水管路クリーンシステムを使っているが、薬液の残留は無いのか？

A 7. 薬液の排出工程において十分な水道水で管路内部の薬液を洗い流し、完全に水道水に入れ替えるプログラムになっていますので薬液の残留の心配はありません。

ただし、薬液の希釈倍率を間違えて濃い液を入れた場合は通常工程では薬液を洗い流せないことがありますので、薬液の調整は取扱説明書に従って行ってください。

Q 8. 給水管路クリーンシステムを付ければバイオフィームは形成しないのか？

A 8. 推奨の使用環境で使用していただくことで給水管路内に雑菌の繁殖やバイオフィームの形成を抑制します。ただし、長期使用により少しずつ管路内に汚れの付着は起こります。

Q 9. 給水管路クリーンシステムを後付けしたいがどのユニットが対応可能なのか？

A 9. 次の器種（型式）について対応可能です。

・イムシアⅢ-UP ・スピリットV ・セプタス（別途、お問合せください。）

・シグノG50、G40、G20、トレファート（ただし、前期タイプ対応不可）

※現地改造において後付け対応キット（別売）が必要となります。場合によっては管路部材の変更も必要になる場合があります。

Q 1 0. 給水管路クリーンシステムについて案内（院内掲示）できるものはあるのか？

A 1 0.パンフレットやポスターを用意していますのでご活用ください。

Q 1 1. 水道水は衛生的に保たれているのにユニットから出てくる水は汚れているのか？

A 1 1. ユニット内の溜まり水は時間の経過や管路内の汚れ（有機物との接触）、環境要因等により

残留塩素が少なくなると菌が繁殖します。毎日の診療前のフラッシングにより汚れた水を排出し、水道水質基準に適合した水に入れ替えて使用していただくことをお奨めします。

ただし、建物や配管、貯水タンク等の影響により菌を含む水がユニットに供給されることもありますので除菌フィルターを取り付けていただくと共に定期的に（1年に1回）交換を行って使用してください。

Q 1 2. 除菌フィルターがなぜ必要なのか？

A 1 2. ユニットに流れる水が常に水道水質基準に適合した水に保たれていれば良いのですが、

季節変動や建物や配管、貯水タンク等の影響により菌を含む水がユニットに供給されることがあります。水の中の菌をろ過して取り除くために除菌フィルターを取り付けていただくことをお奨めします。また、定期的に（1年に1回）交換を行って使用してください。

Q 1 3. ユニットの水について調査することはできるのか？

A 1 3. ユニットの水の状態を調べる方法として一般的には水道法に基づく水質検査があります。

水質検査を実施される場合にはお近くの調査機関にご相談ください。

Q 1 4. 他社の給水に関するシステムはなぜモリタのユニットに使えないのか？

A 1 4. 何れのシステムもモリタユニットに接続され連続的に通水されて口腔内で用いられることを前提とした薬機法の認可は受けておりませんので推奨できません。また、水道法の観点からも適合性を確認しておりませんので、推奨できません。

Q 1 5. 他社の給水に関するシステムをモリタ社製ユニットにつなぐと器械に影響ないのか？

A 1 5. 何れのシステムもモリタユニットに接続され連続的に通水された状態での影響について確認できていませんので、推奨できません。

Q 1 6. 他社の給水に関するシステムは他社製ユニットになぜ接続して良いのか？

A 1 6. 他社の状況は把握できておりませんのでコメントできません。